

# 感染症流行予測調査（日本脳炎感染源調査）

【保健衛生室】

加藤喜幸、浅野康子

## 1 はじめに

感染症流行予測調査事業は、厚生労働省の委託による事業で、集団免疫の現状把握及び病原体の検索等の調査を行い、各種疫学資料と併せて長期的視野に立ち、総合的に疾病の流行を予測する事を目的としている。平成24年度、国立感染症研究所との連携のもと、感染源調査として、日本脳炎ウイルスの増幅動物である豚の血清中日本脳炎ウイルス抗体価を赤血球凝集抑制抗体（HI抗体）法により測定し、間接的に日本脳炎ウイルスの流行状況を調査したので報告する。

## 2 調査方法

(1) 調査期間 平成24年7月から9月中旬

(2) 材料

県内のと畜場に出荷された肥育豚（生後約6ヶ月）を対象とし、1回10頭、合計8回80頭の採血を行った。

(3) 方法

常法に基づき、HI法を用いた豚血清中の抗

体価測定を行い、判定1:10以上を陽性とした。

## 3 結果及び考察

表に示すように、豚血清のHI抗体価は7月上旬に1頭で陽性を示した。その後、HI抗体価陽生率は7月下旬から高値を示し、9月上旬まで80%以上で推移し、9月中旬に60%まで減少した。また、9月上旬に採血した血清で1頭、9月中旬に2頭の、合わせて3頭がHI抗体価1:40以上を示した。これら全てが2ME感受性抗体陽性で、新鮮感染を確認した。

## 4 まとめ

7月から9月にかけて日本脳炎ウイルスに感染している豚が存在したことから、この時期に感染蚊による活動があったことが推測される。今後も、日本脳炎ワクチンを接種されていない方や乳幼児は蚊に刺されないよう注意が必要である。

表 平成24年度日本脳炎感染源調査結果

採血日 年 月 日	検査頭数	HI抗体価									HI抗体保有率	2ME感受性試験		2ME感受性抗体保有率
		<10	10	20	40	80	160	320	≥640	HI陽性		2ME陽性		
2012 7 4	10	9	1								10 %	1		
2012 7 18	10	10									0 %			
2012 7 25	10	2	7	1							80 %	8		
2012 8 8	10		9	1							100 %	10		
2012 8 16	10	4	5	1							60 %	6		
2012 8 22	10	2	6	2							80 %	8		
2012 9 5	10		5	4		1					100 %	10	1	10%
2012 9 12	10	4	4		2						60 %	6	2	20%
合計	80	31	37	9	2	1					61.25 %	49	3	3.75%